

〈試験問題概要〉

問題

用語解説(a)(b)を参考に以下の文章を読んで〔設問1〕および〔設問2〕に答えなさい。

下記出典の文章の一部を省略しつつ引用し、問題文として出題した（なお、下記出典の文章は仏文であるが、これを和訳したものを問題文として用いた。）。

〔出典： Frédéric Leichter-Flack, Coronavirus et triage de catastrophe : faudra-t-il choisir qui sauver et qui laisser mourir ? <https://theconversation.com/coronavirus-et-triage-de-catastrophe-faudra-t-il-choisir-qui-sauver-et-qui-laisser-mourir-133422>〕

※問題文は、著作権の関係上非掲載とします。

〔設問1〕 下線部(1)の「功利主義の命令」「功利主義の論理」とはどのようなことか。分かりやすく説明しなさい（200字程度）。

〔設問2〕 文章が扱っている問題を、いくつかの論点が明確になるように説明しなさい。そしてそれらの論点についてあなたの意見を説得的に述べなさい（800字程度）。

（この出題は法律学の知識を問うものではありませんので、法令、判例や学説に言及する必要はありません。）

〈出題趣旨〉

コロナウィルスの感染により比較的早期に医療資源が危機的な状態に陥った北イタリアにおける状況に鑑み、緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送をおこなうために治療優先順位を決定する、いわゆるトリアージの問題を省察するフランスの研究者の投稿を読ませ、読解力を評価し、功利主義の論理を理解しているかを問い、深刻で難解な問題につき、冷静かつ明確に論点を整理し、自己の考えを表現する能力を評価することが出題の趣旨である。

〔設問1〕については、トリアージの問題から、功利主義の原理を分かりやすく説明できるか、を採点の基準とした。

〔設問2〕については、平常時とそうでない時の対応、その線引き、年齢による生の意味の区別の可否、といった論点を、投稿の読解から抽出し、それらにつき自己の考えをいかに論理的、説得的に述べているかを基準とした。

以上

2021 年度 南山大学大学院 法務研究科 法務専攻 (専門職学位課程) 入学試験
《B 日程》 小論文 試験問題概要および出題趣旨

出題の趣旨

本問は、大竹文雄『競争と公平感』（中公新書、2010）170 頁以下「Ⅲ働きやすさを考える 2 増えた祝日の功罪」の一部を読み、設問について検討する中で、受験者の論理的思考力を問うものである。設問 1 は、下線 a) の前後の文脈を踏まえて、論理的に考え結論を導くものである。設問 2 は、「休暇の取得時期の決定権」という点を軸に、問題の整理と多角的検討を加えることで、論理的思考力を問うものである。

2021年度 南山大学大学院 法務研究科 法務専攻 (専門職学位課程) 入学試験
《C日程》 小論文 試験問題概要および出題趣旨

社会選択理論に関する名著からの出題。

【設問1】は、空欄の前後の文脈から、空欄にどのような文章が入るべきかを検討する問題。「逐次勝抜き方式」で生じる矛盾を論理的に説明する文章を解答できていれば良い。さらに、空欄直前に、「たとえば」とあることから、具体的な例をあげて分かりやすく説明することが求められていることにも気づいて欲しい。文脈を適切に理解できているか、また、理解した内容を明確に言語化することができるかが問われている。

【設問2】は、「多数決方式」と「ボルダ方式」の違いを文章から読み取ったことを前提として、これら決定手法の背後にある価値観の違いを、合理的に導き出すことが求められている。また、その説明に際しては、それぞれの決定方式が、どのような具体的問題状況へ適用されるのが望ましいのかについても説得的に展開することも重要である。解答の論理が一貫していること、解答でとりあげた具体的問題状況が、解答の論理を適切に裏付けられていること等が問われている。